

第10回

ロングトレイルシンポジウム

～迫るインバウンドの再訪に向けて～

2023年2月25日(土)

時間 》 13:30～17:30

会場 》 安藤百福センター

定員 》 50名 (+オンライン参加100名)

参加費
無料

ウィズコロナの時代へと舵を切り、社会・経済の正常化へ向かう動きが進んできた。また、インバウンドの回復が加速している中で、日本の深い魅力を発見できる「歩く旅」は、ますますニーズが高まると期待されている。そこで今回のシンポジウムは、インバウンドの再訪に向けてロングトレイルがどのような役割を果たせるのか、議論し深めていく機会にしたい。

プログラム

挨拶

安藤 宏基（公益財団法人 安藤スポーツ・食文化振興財団 理事長）、小泉 俊博（小諸市長）

※敬称略

講演

「田舎の資源を活かしたインバウンド観光 ～Walk Japan 30年の歩み～」



ポール・クリスティ（Walk Japan CEO）

「どうしたらもっと良くできるか」を問い続けてきた30年を振り返る。中でも、地域における日々の景観維持活動や、植林された山を多様な動植物が生息できる森に戻すなどのコミュニティプロジェクトは、私たちの活動の中核であり続け、ツアーの付加価値として多くのお客様の心を惹きつけている。

講演

「それからの JAPAN TRAIL®」

中村 達（日本ロングトレイル協会 代表理事、安藤百福センター センター長、JAPAN TRAIL 制作委員会）

報告

「国立公園等の上質な利用に向けた取り組み」

岡野 隆宏（環境省自然環境局国立公園課 国立公園利用推進室長）

トークタイム

「山と旅をめぐるこれからのトレンド」 ★★

安仁屋 円香（ランドネ編集長）

青崎 涼子（通訳案内士、登山ガイド）

矢部 華恵（エッセイスト）

コーディネーター 小林 千穂（山岳ライター）

講演

「インバウンドを引き付ける
アドベンチャーツーリズムの魅力」

山下 真輝（アドベンチャーツーリズム協議会理事、
JTB 総合研究所交流戦略部部長）

講演

「京都の自然を歩く 京都一周トレイル®について」

湯浅 誠二（京都一周トレイル会会長、
（一社）京都府山岳連盟会長）

紹介

茶の道ロングトレイル（名倉 偉能）

案内

国東半島峯道ロングトレイル（清成 隆）

挨拶

節田 重節（日本ロングトレイル協会会長）

参加
お申し込み

安藤百福センター事務局（長野県小諸市大久保 1100）

右の QR コードを読み取ってお申し込みください。

またはメール：info-center@momofukucenter.jp ・ 電話：0267-24-0825 でも受付可。



現地参加



オンライン配信

※プログラムは予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

※新型コロナウイルスの感染状況によって、規模の縮小や WEB 配信のみ、もしくは中止する場合があります。あらかじめご了承ください。

主催：（特非）日本ロングトレイル協会

共催：安藤百福記念 自然体験活動指導者養成センター（略称：安藤百福センター）

後援：環境省 観光庁 林野庁 長野県 長野県教育委員会 小諸市 小諸市教育委員会

特別協賛：ミズノ株式会社

挨拶

安藤 宏基（安藤スポーツ・食文化振興財団理事長、日清食品ホールディングス（株）代表取締役社長・CEO、日本ロングトレイル協会名誉会長）

講演

ポール・クリスティ（Walk Japan CEO）

1961年イギリス生まれ。1987年に日本語の勉強のために初来日。1989年からは日本経済新聞のアナリストとしてや、日本のテレビ番組（NHK、TBS）のフリーランスプロデューサーなどとして、東京とロンドンを行き来し、2002年に大分県の国東半島に移住。2002年にWalk JapanのCEOに就任。同社の提供するトレッキングを中心としたツアーを通じて、訪日観光客に知られざる日本の真の姿を紹介している。「クールジャパン・アンバサダー」「日本の道 大使」「ONSEN ガストロノミー・アンバサダー」など数々任命されている。



中村 達（日本ロングトレイル協会代表理事、安藤百福センターセンター長）

公益財団法人安藤スポーツ・食文化振興財団理事、国際自然環境アウトドア専門学校顧問ほか。生活に密着したネイチャーライフを提案している。著書に『アウトドアビジネスへの提言』『アウトドアがライフスタイルになる日』など。スワットヒマラヤ マナリアン初踏査、カラコルム・ラトックII峰、I峰登攀隊など海外登山・ハイキング多数。



報告

岡野 隆宏（環境省自然環境局国立公園課国立公園利用推進室長）

1997年に環境庁（現環境省）入庁。国立公園のレンジャーとして阿蘇の草原や八重山サンゴ礁の保全再生などに携わる。2021年7月より現職。美しい自然の中での感動体験を柱とした国立公園の上質な利用の実現に向けて取り組んでいる。ロングトレイルも関心事項。



トークタイム

安仁屋 円香（ランドネ編集長）

アウトドアショップ店員、尾瀬の自然ガイドを経験したのち、2011年ランドネ編集部仲間入り。登山歴15年。山頂を目指すだけではない山の楽しみ方を、ランドネを制作するなかで知り、今ではふもとの町ですごす時間を充実させた「旅要素が多めな山旅」が定番に。下山後の温泉やお土産探し、歩きながら交わす仲間との会話も、山旅に欠かせない要素。



矢部 華恵（エッセイスト、ナレーター、ラジオパーソナリティ）

1991年生まれ。10歳よりモデル活動を開始。12歳で『小学生日記』を刊行以来、エッセイストの活動を広げ、著書を多数出版。「世界ふしぎ発見！」（TBS）にミステリーハンターとして出演するほか、登山関連のテレビ番組にも出演。現在「山小屋ストーリーズ」（InterFM）のパーソナリティをつとめ、登山雑誌「ランドネ」で短編ストーリーを連載中。



青崎 涼子（全国通訳案内士・日本山岳ガイド協会認定登山ガイド）

アウトバウンド向け旅行会社、アドベンチャー専門旅行会社勤務を経て、フリーに。アラスカのアウトドア学校NOLSでバックパッキングを学ぶ。北米、その後ピレネー山脈で夏を過ごす。日本では、通訳案内士&登山ガイドとして、海外からのゲストと、中山道や熊野古道を歩く。思い出深い旅は、バンクーバー島のウエストコーストトレイル70km。



コーディネーター 小林 千穂（山岳ライター）

山好きの両親のもとで育ち、子どものころから山に親しむ。潤沢なスタッフ従業員、山岳写真家アシスタントの経験を活かし、山岳専門誌や書籍の編集・執筆を手掛ける。主な著書は『失敗しない山登り』（講談社）、『DVD 登山ガイド穂高』（山と溪谷社）など。2022年春、八ヶ岳山麓に引っ越し、周辺の山で家族登山を楽しんでいる。



講演

山下 真輝（アドベンチャーツーリズム協議会理事、JTB 総合研究所交流戦略部部長）

JTBグループが立ち上げた「地域交流プロジェクト」を推進するべく、全社戦略の策定や人材育成に取組み、内閣官房地域活性化伝道師として全国各地の観光振興のアドバイスをを行っている。日本アドベンチャーツーリズム協議会では、ATに関する調査研究、全国で商品開発、人材育成等のコンサルティングやアドバイスをを行う。



湯浅 誠二（京都一周トレイル会会長、（一社）京都府山岳連盟会長）

1948年生まれ、京都府亀岡市在住。高校1年生の時、登山クラブがあることを知り、「これだ！」と心がときめいたことがきっかけで登山を始めた。以来、国内外の山を登り続けている。京都一周トレイル®には開設当初から携わり、国内外の観光客をガイドし、魅力を伝え続けている。令和元年に「京都一周トレイル会」会長に就任。



紹介

名倉 偉能（茶の道ロングトレイル代表、日本山岳ガイド協会認定登山ガイド）

治療家・運動指導者・登山ガイドなどジャンル越えた活動が目立ち、こどもからプロアスリートまでの運動指導、教育施設での講演等も多数行っている。現在スクールなど500名の子どもたちにスポーツ、ダンス、自然遊びなどのインストラクターを行なっている。



案内

清成 隆（国東市役所観光課長兼（一社）国東市観光協会事務局長）

国東半島峯道トレイルクラブ事務局次長（国東支部事務局長）。2012年国東半島峯道ロングトレイル準備委員会事務局長を務め翌年2013年2月、正式に日本ロングトレイル協会からコース認定される。同年4月にトレイルクラブ設立総会を立ち上げ今日にいたる。2023年に10周年を迎える。



挨拶

節田 重節（日本ロングトレイル協会会長）